

企業は、自社の「経営理念・ミッション・経営目的」を確立し、企業目的達成のための「経営戦略・経営方針」に基づいて「経営計画・利益計画」を決定し、その実行計画としての「予算」を編成し、その予算に基づいて経営活動の統制を行っている。会計は、その企業の経営活動の「将来の姿」、「現在の姿」、「過去・結果の姿」を、貨幣数値を用いて写像し、内部・外部の利害関係者の「意思決定」のために有用な情報を提供する役割を担っている。

本公開講座では、企業の経済活動の結果を写像した「財務諸表・決算書」の読解の仕方・分析の仕方について学び、企業経営の適否を判断できる能力を育成することを目的とする。

【第1回】	「財務諸表・決算書の読み方を学ぶ —経済・経営・マーケティング・会計の相互関係と財務諸表の役割と読み方を中心に—」
12/2火	[講師] 青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授 藤永 弘
【第2回】	「財務諸表・決算書の分析の仕方を学ぶ —外部・内部利害関係者の立場からの分析の仕方を中心に—」
12/4木	[講師] 青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授 藤永 弘
【第3回】	「キャッシュフローから経営財務戦略を学ぶ —キャッシュフローと中小企業の資金調達を中心に—」
12/9火	[講師] 青森公立大学教授 落合 孝彦
【第4回】	「成長企業・倒産企業の財務諸表から 経営分析の活かし方を学ぶ —成長企業・倒産企業の事例を中心に—」
12/11木	[講師] 松陰大学教授・中央大学名誉教授 石崎 忠司
【第5回】	「ホームセンター業界の財務諸表から経営分析を学ぶ —地元企業(サンデー)と 全国展開企業(ホームック)を事例として—」
12/16火	[講師] 札幌学院大学名誉教授 坂下 紀彦

【時間】18時30分～20時30分

【場所】アウガ5階 青森市男女共同参画プラザ研修室

【対象】一般社会人、会社員、公務員、高校生、学部学生、大学院生

【定員】各回50名(先着順)

申込方法 開催日前日(必着)までに受講を希望する演題名・開催日と、住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・連絡先の電話番号を明記し、郵送、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

青森公立大学地域研究センター公開講座係

【郵送先】〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4

【FAX送信先】017-764-1564

【E-mailアドレス】kouza@bb.nebuta.ac.jp

受講料  
無 料

# 「財務諸表・決算書の読解力・分析力」を育成する。

—財務諸表・決算書は経営情報の宝庫である—



※おおもり県民カレッジ単位認定講座。各2単位(計5回)



【主催】青森公立大学 【URL】 <http://www.nebuta.ac.jp/>

【TEL】017-764-1561(受付時間: 8:30～16:30)・017-718-7025(受付時間: 16:30～21:00)

【後援】青森商工会議所 【URL】 <http://www.acci.or.jp/>



# 「財務諸表・決算書の読解力・分析力」を育成する。

青森公立大学公開講座

— 財務諸表・決算書は経営情報の宝庫である —

【第1回】 12月2日(火)

「財務諸表・決算書の読み方を学ぶ  
—経済・経営・マーケティング・会計の相互関係と  
財務諸表の役割と読み方を中心に—」

【講師】青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授  
藤永 弘

財務諸表分析は、私企業のみならず、あらゆる「継続的事業体」の経営活動の適否・良否を明らかにすると共に、その原因を究明して、その継続的事業体が社会的な役割を果たすように経営活動を改善するものである。本講座では、財務諸表分析の意義と体系、財務諸表分析の長所と限界、経営活動と財務諸表分析—経営と会計の相互補完関係—、財務諸表—貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書、株主資本等変動計算書—の見方・読み方を中心に行うことにする。

【第2回】 12月4日(木)

「財務諸表・決算書の分析の仕方を学ぶ  
—外部・内部利害関係者の立場からの  
分析の仕方を中心に—」

【講師】青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授  
藤永 弘

本講座では、まず財務諸表分析の基本的・汎用的技法の意義と分析方法について学びます。具体的には、経営者・経営管理者などの経営内部の利害関係者の視点、株主・投資家、債権者、税務当局などの経営外部の利害関係者の視点から、安全性分析の意義と分析方法、収益性分析の意義と分析方法、生産性分析の意義と分析方法、成長性分析の意義と分析方法、総合評価の意義と分析方法を学びます。具体的なケースとしては三浦工業と自動車産業を予定している。

【第3回】 12月9日(火)

「キャッシュフローから経営財務戦略を学ぶ  
—キャッシュフローと中小企業の資金調達を中心に—」

【講師】青森公立大学教授  
落合 孝彦

本講座では、経営環境の変化に対するわが国中小企業の適応プロセスを探ることに重点を置きます。そのためにも、安全性分析に見る複数の手法・考え方を紹介し、それらの関連性について説明します。この説明を踏まえた上で、公開されている財務データに基づき、わが国中小企業財務の傾向と特徴を把握し、この作業を通して、「わが国の中小企業が直面している財務的課題が何か」について明らかにしたいと考えている。

【第4回】 12月11日(木)

「成長企業・倒産企業の財務諸表から  
経営分析の活かし方を学ぶ  
—成長企業・倒産企業の事例を中心に—」

【講師】松陰大学教授・中央大学名誉教授  
石崎 忠司

財務的要因は企業が成長するための最大の条件ではありません。しかし、財務的要因は企業が倒産しないためには必須の条件になる。企業が倒産を回避し持続的に成長するためには財務を含めた柔構造の組織が必要であり、経営の要素である「ひと」「もの」「かね」のあり方を、成長企業と倒産企業を例にして説明する。

【第5回】 12月16日(火)

「ホームセンター業界の財務諸表から  
経営分析を学ぶ  
—地元企業(サンデー)と  
全国展開企業(ホームマック)を事例として—」

【講師】札幌学院大学名誉教授  
坂下 紀彦

わが国の流通業は、業界間の業務の垣根が取り払われつつあり、そのような激しい企業間競争の中で業界の再編成が進行している。そこで第1回から第4回までの公開講座で学んだ基本的な経営分析の技法を活用して業界のトップ企業であるDCMホールディングと地元企業サンデーの比較をしながらそれらの企業の現状とその成長過程を検討する。